

香川スクールソーシャルワーカー協会 ニュースレター

2018.3.25

第8号



2017年度 第4回研修会



若い会員さんもがんばっています！

1月12日(金)、丸亀市のひまわりセンターで、「SSW再考に焦点を当てた事例」というテーマで、普通寺市のスクールソーシャルワーカー 清水 美沙さんが事例発表を行いました。

(事例発表者・清水美沙さんの感想)

SSWerの専門性を学ぶ機会がありました。私の学びや気づきを中心に、みなさんとSSWerの専門性ってどういうことなのか？を検討しました。

専門職を構成する要素のなかの基盤となる豊かな資質及び人間性と、土台である専門職の価値・倫理が中心の内容でした。基礎と土台がなければ、専門職という家は建たないというのを私は伝えたかったようにも思います。

また、事例検討会やスーパービジョンなど自己研鑽を積み重ねることのできる環境に感謝しています。そこで私自身が認めてもらう経験を重ねたからこそ、子どもに対して同じように主体的にかかわることができたようにも思います。

みなさんのお言葉から、これからの活動もがんばろう！とエネルギーをもらうものばかりでした。個別でしかかわるだけではケースワーカーです。SSWerとしての専門性を発揮したかわりをし、それをさらにメゾ・マクロレベルでの実践に繋がるように、これからも自己研鑽を重ねたいです。参加されたみなさん、ありがとうございました

(参加者・賛助会員 福田 誠さんの感想)

今回の定例会では、清水さんご自身が発題された事例検討会を通して、子どもとの関わり方や支援方法に大きな変化があったことが報告されました。清水さんは、今回のような事例検討会での発題やスーパービジョンの活用など、普段から自己研鑽に励み、SSWerとして技能や専門性を身に付けるための努力をされていることにとっても感心しました。

そして、私も現在SSWerを目指して学んでいる者として、清水さんのような常に向上心を持ち、自分自身と向き合いながら、成長するための努力を惜しまないSSWerを目指したいと思いました。



ピアスーパービジョン開催

2月17日(土)、ひまわりセンターにおいてピアスーパービジョンが開かれました。

日々の仕事のなか、判断に迷ったり行き詰まりを感じるケースに直面することがあります。自分なりに一所懸命考え、かわりを持ち、動いてはいるのだけど、本当にこれでいいのだろうか。とすれば、無力感に苛まれることもしばしばです。そんな風にひとりで抱え込んでいる自分に気づき、今回初めて、ピア・スーパービジョンに参加しました。

参加者同士が肩の力を抜き、ゆったりした時間が流れるなかでの語り合い。お互いの話に耳を傾け、そこから色々な視点をもらえました。暖かな、ねぎらいの言葉に癒されました。行き詰まりを感じていた部分には、広がりがもたらされた気がします。安心して語れる場所があるということのありがたさを、あらためて感じました。日頃、相談者に寄り添い、支えることの多い私たちですが、私たちもまた、仲間から支えてもらい、エンパワメントされることで、安心して働くことができるのだと思います。ピア・スーパービジョンに参加して、新たな気づきをもらえ、そっと背中を押してもらえたことで、また新たな気持ちで相談者とのかわりを続けていけそうです。暖かな時間を、ありがとうございました。

(高松市スクールソーシャルワーカー 小川 真理子さん)



3月9日(金)、ひまわりセンターにて第5回研修会が開かれました。

今年度、協会では「SSW再考」をテーマに研修を行ってきました。今回の研修では、これを来年度の研修テーマ「SSW活用」につなげようとグループワークに取り組みました。

参加者は2つのグループに分かれ、

- ①「SSW再考」の1年間を振り返る
- ②協会活動と「SSW再考」
- ③来年度の「SSW活用」につながるヒント

について、それぞれ話し合いを行いました。最後に各グループから話し合った内容を発表しあい、共有することもできました。

企画運営委員からは、今日の話し合いを参考に、来年度の研修企画をしていきたい、との発言もありました。また、参加者からは日々の活動の刺激になるような意見が多数あったとの声も聞かれ、大変よい研修になりました。

吉田 典子さん さぬき市SSWer

専門学校の教員から、さぬき市教育委員会のスクールソーシャルワーカーに転職して、はや1年。新人とはいえ、この年齢では、どこへ行っても新人扱いはしてもらえず…。しかしながら、周りのワーカーにも助けてもらいながらの、あつという間の1年でした。

子どもたちの笑顔エネルギーにかえながら、今日も5校を走り回っています。スクールソーシャルワーカーとしては、まだまだ新人なので、何とぞよろしくお願いいたします。



会員投稿のひろば「SSWer1年目に思うこと」

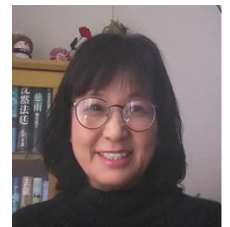
今回は、高松市で今年度からスクールソーシャルワーカーとして働いておられる大橋 茂美さんにこの1年間を振り返っていただきました。

高松市の大橋です。これまで、小・中学校で養護教諭をしていました。勤めながら大学院に行き、各種の研修会の単位を取って認定カウンセラーや上級教育カウンセラーの資格を取得しましたが、社会福祉士ではないので、福祉に関してはまだまだ勉強不足です。

一度学校現場から離れて、男女共同参画課で相談員をしている中で、DVや虐待、離婚や貧困等が原因の、子どもたちが抱える様々な問題に直面しました。それらは学校だけでは解決できる問題ではないと痛感し、そこで奔走する方々との出会いが、もう一度学校現場にもどって子どもたちのために働きたいという気持ちを後押ししてくれました。

現在、中学校2校で勤務していますが、学校によってSSWerへのニーズに違いがあります。そのニーズにできるだけ応えられるよう、自分のできることを頑張ろうと思いますが、不安や悩みもあります。仕事に関して自信もありません。私にとってSSWerの仲間がいることは本当に心強いです。

これからも勉強していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



事務局より

2018年度 香川スクールソーシャルワーカー協会の総会は2018年6月3日(日)午前開催予定です。会員の皆様におかれましては、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加いただけますようよろしくお願いいたします。欠席の場合は委任状のご提出を別途ご案内させていただきます。

編集・発行

2017年度、予定しておりました年4回のニュースレターの発行が皆様のご協力のおかげをもちまして、達成できました。どうもありがとうございました。年度末の慌ただしい時期かと思えます。どうぞ皆様、ご健康に留意され、来年度も引き続き、編集広報委員会の活動にご理解、ご協力いただけたらと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

